▼ ファームウエア アップデート手順書

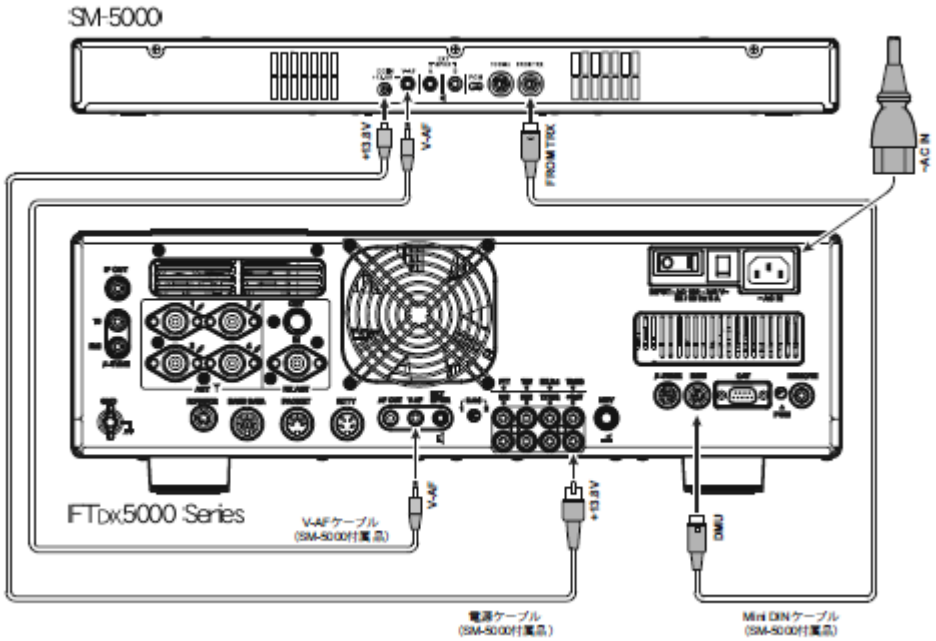
ＳＭ－５０００ ＦＴＤＸ５０００シリーズ共通

本製品をいつも最高の状態でご愛用頂くために、最新のファームウエアにアップデートされる事をお薦め致します。　本製品は、一定の条件を満たすパーソナルコンピュータ※1 と市販のシリアルケーブル※2 をご用意頂ければ、お客様ご自身でファームウエアをアップデートさせることが可能となっています。（“ﾌｧｰﾑｳｴｱ”とは、本体内部で動作している ｿﾌﾄｳｴｱ の事です。）

（お客様での作業は、本手順書を最後までよくお読みになり、作業の流れをご理解頂いた上で、ご自身の責任において行って下さい。正しく作業が出来なかった場合の不具合につきましては、弊社にて有償で保守を承ります。）

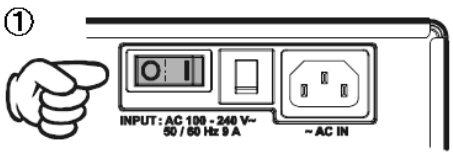
１．　ステーションモニターＳＭ－５０００をＦＴＤＸ５０００に接続します。

（ＦＴＤＸ５０００ の前面にある電源スイッチと、背面にある【主電源】スイッチは切った状態で接続します。）



２．　ファームウエアのバージョンを確認します。

■ ファームウエアのバージョンを表示させます。



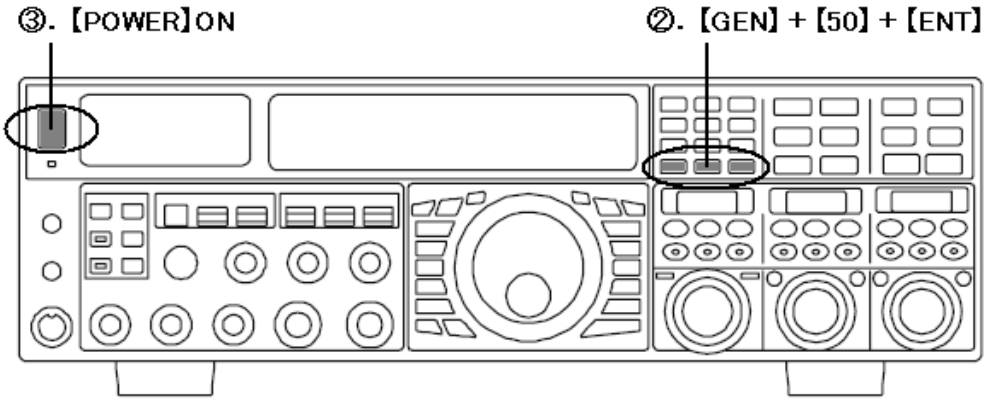
手順①. 背面にある【主電源】スイッチを入れます。

（ このときは未だ前面側の【ＰＯＷＥＲ】スイッチは入れないで下さい。 ）

手順②. 【ＧＥＮ】、【５０】、【ＥＮＴ】３つのキー位置を確認します。

手順③. 手順②のキーを押しながら前面の【ＰＯＷＥＲ】スイッチを入れます。

■　この手順によりファームウエアのバージョンが一定時間だけ表示します。



３．　最新ファームウエアのバージョンを ＷＥＢ で確認します。

■ **当社のホームページよりファームウエアの最新情報を確認して、上記手順で表示した数字より更新されていたら、続く手順によりアップデートすることをお薦めします。**

４．　ファームウエアが更新されていたら次の手順でアップデートします。

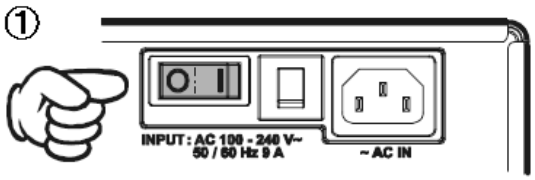
ＳＭ-５０００のファームウエアの更新

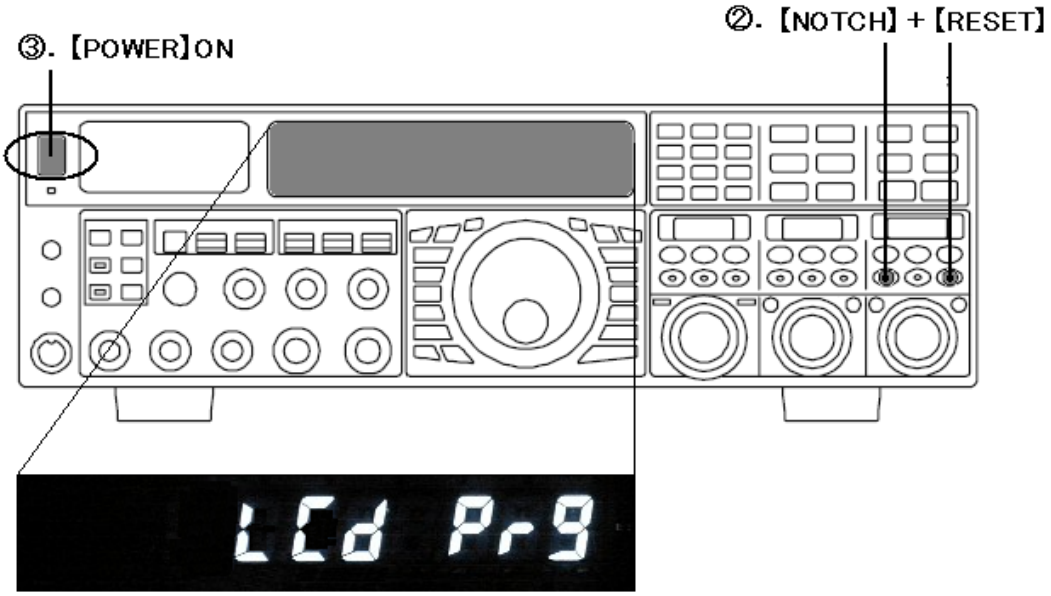
・　無線機・前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチ、続いて背面の【主電源】スイッチを切ります。

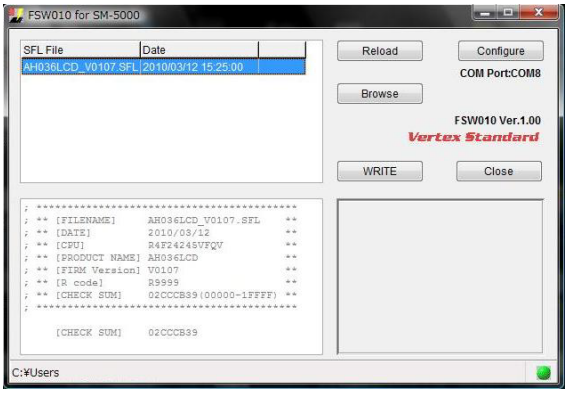
・　ＳＭ-５０００背面の　ＰＧＭ　スイッチを、ようじなどの絶縁物で出来た先の細い物で背面から見て右にスライドさせます。(切替スイッチは頻繁な操作に耐えるものでは無いため、無理な力を加えないよう取扱にはご注意下さい。)

・　予め用意されたパーソナルコンピューター（以降ＰＣ※1と表記）、本体背面ＣＡＴ端子間を、用意されたシリアルケーブル※2で接続し、さらに本体には電源ケーブルのみ接続し、接続したＰＣ※1を起動します。(※1,2 の詳細は、本説明書の“６．用意するものについて”をご参照下さい。)

・　以上の準備が完了したら、本機背面の位地①【主電源】スイッチをＯＮとし、続いて下図を参考に、ＶＦＯ-Ｂ　ＳＥＬＥＣＴ側の ②【ＮＯＴＣＨ】、【ＲＥＳＥＴ】２つのキーを押しながら前面の③【ＰＯＷＥＲ】スイッチを入れます。電源が入ると、表示に下図に示す“ LCd Pr9 ”表示が出て、ＳＭ-５０００ のファームウエアの書き込みモードとなります。

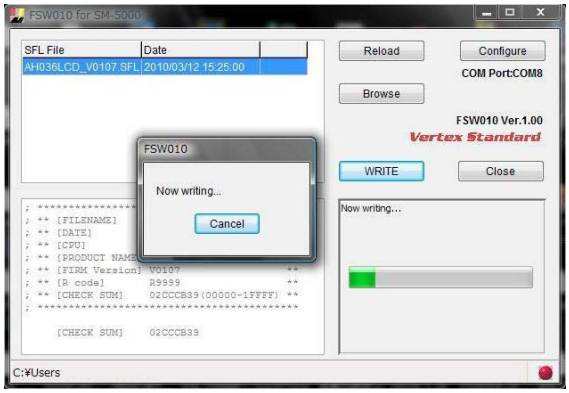


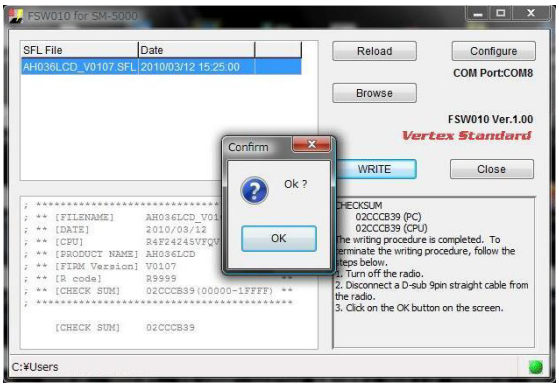




・ 接続したＰＣ※1にセットアップしておいたＳＭ-５０００ のファームウエアの転送ソフト“FSW010.exe”を起動し、対象の“AH036LCD_VXXXX 拡張子 SFL”ファイル最新版を選択して[WRITE] をクリック。ＰＣ※1からの書き込みが始まります。(実行が正常に出来ない場合は、本説明書巻末の“７. トラブルシュート”をご参照下さい。)

・ 転送時間は、ご用意頂いたＰＣ※1の環境次第で大きく差があります。転送が開始されると、転送ソフト内にある転送状況のバーグラフがゆっくりと伸び始めますので、転送中は絶対にそれぞれの機材の電源が切れないようご注意下さい。





・ 左画面の様に「Ｏｋ？」の表示が出たら転送が完了です。「Ｏｋ」ボタンをクリックして転送ソフトを終了させます。

・ 無線機・前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチをＯＦＦ にして、ＳＭ-５０００ 背面のＰＧＭ スイッチを元の位置の左にスライドさせます。

・ 最後に、ＳＭ-５０００ 前面パネルの ＣＯＮＴＲＡＳＴ【 ＋ 】キーと【 － 】キーを同時に押しながら、無線機・前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチをＯＮ にして、ＳＭ-５０００ をリセットさせて完了です。

・ 無線機・前面の 【ＰＯＷＥＲ】スイッチをＯＦＦ にして、ＲＳ２３２Ｃケーブル※2を本機から外します。

（※1,2 の詳細は本説明書の“６. 用意するものについて”をご参照下さい。）

５．　アップデートされたバージョンに対応した取扱説明書を取得します。

アップデート作業後は、本機に対応した取扱説明書(ＰＤＦ)をダウンロードしてご確認下さい。

６．　用意するものについて

■　**ファームウエア転送ソフトのセットアップ。**

この手順書でお客様がご用意頂くパーソナルコンピューター（ＰＣ※1）には、以下の転送ソフトをダウンロードしてセットアップしておきます。　弊社のＷＥＢページより、対象のＺＩＰファイルをＰＣ※1内に適当に作ったフォルダにダウンロードします。、フォルダ内に保存したＺＩＰファイルを解凍して、展開した全ファイルを、インストールするＰＣ※1のデスクトップなどにコピーします。　ファームウエアの転送ソフトは、展開したファイル中の“FSW010.exe” アイコンをクリックすると、起動します。　最新版の“AH036LCD_VXXX 拡張子 SFL”ファイルを転送ソフト内で選択して使用します。

■　**アップデート用に適したパーソナルコンピューター（ＰＣ※1）の条件は・・**

- ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴ のある パーソナルコンピューター
- Microsoft Windows 2000 以上のオペレーティング・システム
- ファームウエアとその転送ソフトインストール用に３０ＭＢ以上の空き容量のあるハードディスク
- ２５６ＭＢ以上のＲＡＭ
- １０２４×７６８の画面解像度、２５６色以上をサポートするビデオカードとディスプレイ

■　**作業に適したシリアルケーブル※2は・・**

使用可能なシリアルケーブル※2は、市販のＲＳ-２３２Ｃ規格で、フル結線のストレートタイプをご用意下さい。市販品の多くは、コネクタ部のオスメスが合致しますが、まれにオスメスが逆のタイプもありますので、事前にご確認下さい。既にハムログなどで、本機との動作が確認出来ていれば、同環境で作業は可能です。

７．　トラブルシュート

■　**弊社のホームページでダウンロードできるファームウエアは圧縮（ＺＩＰ）ファイルです。**

取得したＺＩＰファイルは、解凍して展開した全ファイルを、インストールするＰＣ※1のデスクトップなどに適当なフォルダを作り、コピーして使用します。(解凍して展開された転送ソフトのＥＸＥファイルをそのままクリックしても起動しません。)

■　**転送ソフトを起動しても、ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴ を認識しない場合は・・**

接続したシリアルケーブル※2のＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴのＣＯＭ番号の優先順位が低い場合などでは、そのまま転送ソフトを起動しても ＣＯＭ port Error 表示が出て転送できない場合があります。その場合には、ファームウエアの転送ソフト“FSW010.exe”画面内の［Configure］の設定により、接続したシリアルケーブル※2のＣＯＭ番号と同じ物を選択することで転送が実行されます。

■　**ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴ がないパーソナルコンピューターの利用について・・**

ノート型や、デスクトップで小型の物などでは、ＵＳＢ ＰＯＲＴ だけで、ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴが無い場合がありますが、市販のＵＳＢシリアル変換ケーブルを利用する事で作業は可能です。既にハムログなどで、本機との動作が確認出来ていれば同環境で作業が可能です。

接続したＵＳＢシリアル変換ケーブルで増設したＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴを認識しない場合の多くは、

パーソナルコンピューターのオペレーティング・システムが、ＵＳＢシリアル変換ケーブルの接続に伴い、自動的にデバイスドライバーを設定されたままの場合が多く、オペレーティング・システムのデバイスマネージャでは増設したＣＯＭ ＰＯＲＴが確認できていても、転送ソフトがそのＣＯＭ番号を認識できない場合があります。その時には自動で設定されたデバイスドライバーをオペレーティング・システムのデバイスマネージャで削除した後、接続したＵＳＢシリアル変換ケーブルを一旦外し、ケーブルメーカーのＷＥＢサイトで、使用するオペレーティング・システムに対応したＵＳＢシリアル変換ケーブルの最新のデバイスドライバーを入手してインストールした後に、改めてＵＳＢシリアル変換ケーブルを接続することで正常に認識することが報告されています。

本製品は、一定の条件を満たすパーソナルコンピュータ※1と市販のシリアルケーブル※2をご用意頂ければ、お客様ご自身でファームウエアをアップデートさせることが可能となっていますが、本手順書の要領が不明なまま作業を行うと、本機が起動不能となるなど重大な不具合を引き起こしますので、本書を最後までよくお読みになり、ご自身の責任において行って下さい。アップデート作業は、お客様のご希望により、弊社でも有償で作業を承ります。

八重洲無線株式会社
アマチュア カスタマーサポート
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8
天王洲ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞﾋﾞﾙ 11F
TEL 03-6711-4045 FAX 03-6711-4272